

よ読んでみよう 解いてみよう
さん太のワークシート

国連が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）のテーマに関連付けて妖怪を紹介する図鑑を、倉敷市のイラストレーターが作りました。記事を読み質問に答えましょう。

Q1

SDGsの目標は「貧困をなくそう」「すべての人に健康と福祉を」など全部で17あります。達成を後押しする妖怪を

考えて、絵に描いてみよう。

ていがくねん
低学年も
チャレンジ!



Q2

図鑑にはイラストも添えています。どんな道具を使って描いていますか。記事から探して、

次の三つから一つを選んでみよう。

- ①クレヨン ②アクリル絵の具 ③水彩色鉛筆

「SDGs」妖怪で学ぼう

「みんなは知ってる？ SDGsと妖怪図鑑」
を手にする五藤さん



タイトルは「みんなは知ってる？ SDGsと妖怪図鑑」で、SDGsが掲げる17の目標ごとに4〜7の妖怪を紹介。それぞれ水彩色鉛筆で描いた自筆のイラストを添えている。「飢餓をゼロに」の

倉敷市真備町川辺のイラストレーター五藤諒真さん(24)が、国連が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）のテーマに関連付けて妖怪を紹介する図鑑を自費出版した。「肩肘張らずにSDGsを考えるきっかけに」と発案。幼少期から培った豊富な妖怪の知識を生かし、ユニークな視点で現代の社会課題を説明している。（小野祐香）

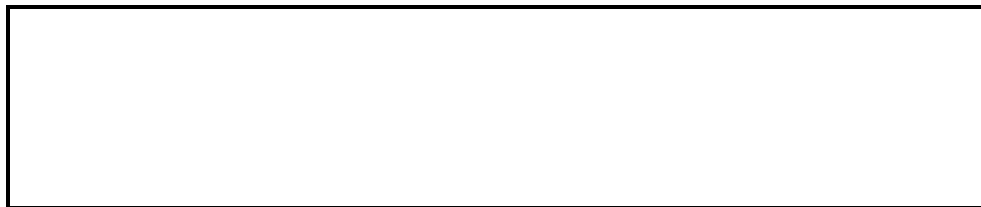
倉敷 イラストレーター 五藤さん、図鑑出版

猛暑に苦しむ雪女 ユニーク視点で問題提起 海ごみ悲しむ人魚

「ジェンダー平等」では夫婦の鬼・手長足長を取り上げ、男女間格差が大きい日本の現状を指摘。異常気象や海洋汚染について問題提起する項目もあり、猛暑に苦しむ雪女や、ごみが浮かぶ海で悲しむ人魚を描いている。小さい頃から妖怪が大好きだった五藤さん。2022年3月に倉敷芸術科学大芸術学部を卒業した際、卒業制作の一環で図鑑を制作した。知人や家族に出版を勧められ、同年12月から準備に取りかかり、加筆、修正し昨年10月に発刊した。B5判78ページ。価格は2200円。千部作製し、県内の書店や通販サイト「アマゾン」で販売している。五藤さんは「SDGsの認知度は一般ではまだ低い。本をきっかけに社会問題に目を向ける人が増え、妖怪にも関心を持つてもらえたらうれしい」と話している。

Q3

図鑑には、異常気象や海洋汚染の問題を示した項目もあります。どんな妖怪の姿が描かれていますか。第4段落から二つ抜き出してみましょう。



過去の問題は
こちらから▶▶



◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。